

ともに支えあう社会をめざして

のだ悦子市議会レポート

高岡をもっと暮らしたいまちに

創刊号

発行 2022年1・2月
発行人 高岡市議会議員
のだ悦子
立憲民主・市民議員団



市議1期目はじめの1歩

高岡市議選においては、みなさまのご支援・ご協力により、市議として活躍する機会を与えていただくことになりました。12月議会において議員としての第一歩を踏み出しました。

さて、新型コロナウイルスの感染はしばらく落ち着いていましたが、オミクロン株の強い感染力で私たちが不安に陥れていました。3回目のワクチン接種などの対策がとられますが、高岡市においても場当たり的な対応ではなく、新たな感染に備えた体制の確保が課題となっています。民生病院常任委員会に所属しているので、審議をとおしてコロナ禍での様々な問題に取り組んでいきます。

12月議会は改選後初めての議会で、私を含め8人の新人議員が質問し、市長や当局に論戦を挑みました。コロナ禍の対応に国からの子育て世帯臨時特別給付金やコロナ感染症生活困窮者自立支援金、また、高岡市独自で福祉施設への原油高騰の緊急支援（施設規模に応じ1施設あたり2万〜10万円）などを盛り込んだ例年より規模の大きな補正予算が提案され、可決しました。

ハラハラ、ドキドキ、初質問

12月14日（火）、12月定例会で、2日目の2番目に一般質問を行いました。



テーマは立候補の主要動機「福祉・医療・教育分野と男女平等からスタート。角田市政はDX（デジタルトランスフォーメーション）やコミュニティビジネスなど新しい分野に重点を置いています。市民の要望は福祉と医療。そこにもつと視点を当てた市政を！」と要望。二つのテーマで質問しました。

子育て環境の改善 保育環境の改善と、保育士の待遇改善

質問 保育士賃金は5〜6万円も他業界の平均賃金と格差がある。また、配置基準も1歳児6人に1人、4〜5歳児30人に1人と実態とかけ離れている。さらに20代の民間保育士の離職率が52%もあり、働き続け

初質問 女性と働くものの声を市政に届けました

られない状況がある。この問題への認識の説明と改善を求める。

答弁 賃金は現在加算措置がされているほか、政府が見直しを進めている。また、配置基準の見直しを全国市長会で要望している。職場環境については柔軟な働き方と事務の効率化などを行う。

私のひと言 20代保育士の2人に1人が離職している。保育士バンクを作り、県と協力して潜在保育士の活用をあげている角田市長。賃金改善はもちろん、正規と非正規の格差や一人当たりの子ども

人数の見直しが大前提。力強く国に要請を！

地域活動組織等への女性登用比率

参考指標	基準数値
連合自治会長の女性比率	0%
自治会長の女性比率	1.6%
市立中学校PTA会長の女性比率	2.5%
市立公民館長の女性比率	0%

高岡市男女平等推進プラン後継事業計画中間報告(仮)より

男女平等施策の更なる推進を市民の意識改革、市管理職、自治会役員などの女性比率と選択的夫婦別姓について

質問 男女平等推進プランができて14年経つが、依然と家事時間や賃金は男女で大きな差がある。また、市役所（本庁舎）の部長6人は全て男性。プラン後継計画の各項目に現状の数字があるが、唯一変わらずゼロなのが連合自治会長。地域の男女平等意識が変わっていないのでは。

また、市長選前の候補者への別姓アンケートでは、角田市長は別姓については学生時代の卒論テーマであり、「民法改正につながる取り組みを進めていく」との回答があった。旧姓使用では解決されない問題があり、国へ法改正の要請を要望する。

答弁 プランに基づき男女平等を推進。自治会は女性や若い世代が入れる多機能地域自治を進めていく。

能力・意欲・適性に配慮し管理職の女性登用を進める。別姓については国の方針に基づき旧姓使用を進めているが、問題がいくつかあることを認識している。法改正は国の動きを注視する。

私のひと言 地域では「小嵐」を名乗っているのに、「のだ（埜田）」で立候補したので選挙では苦労した。選択的夫婦別姓が実現していれば状況は違っただろう。

女性参画の資料を見ると、歴代の連合自治会長に女性は一人もいない。女性がやりたいと思わないのは家庭の家事負担が大きいことも要因。そこを変えるのは地域や家庭の中の意識改革!! 女性が地域の代表になっても当然とあらゆる組織が認識することが肝心だ。女性が参画しやすくなるための努力を求めたい!



議会会派は 立憲民主・市民議員団

政治主張を同じくする議員で会派を作り、3人以上で国への意見書を議会に提出することが出来ます。私は、同じ働く者や市民の代表である石須、上田両議員と3人で統一会派「立憲民主・市民議員団」を結成しました。私は幹事長です!

全27人の中で私たち3人以外はすべて自民・公明の会派です。私達は「国追従で市民に寄り添ってない施策でないか」と厳しくチェックし、声なき声の代弁者として議会に思いを伝えるために取り組みます。

女性と子どもの自殺増を受け、 「対策を求める意見書」を提出

コロナ禍で女性と子どもの自殺が増えています。特に富山県の増加率は全国1位で即刻の対応が求められます。非正規の不安定な女性と休校など通常と違う生活を強いられている子ども達に対する対策を国に求める意見書を提出しましたが、賛成少数で否決となりました。

気候変動による温暖化対策を求める意見書も提出しましたが、同じく否決されました。



12月14日、12月定例会で初の一般質問

新年度予算要望

12月16日、連合

高岡地協は市長、産業振興部次長等に制度政策要求を提出しました。重点要求として、コロナ禍の雇用・生活対策、雇用の安定に向けた中小企業事業者への支援強化、医療・介護の充実、若年層・就職氷河期世代の雇用・就業機会の実現、教員の長時間労働の解消で、その対策を求めました。



また、「立憲民主・社民議員団」は、12月21日に市長、副市長等に会派の要望書を提出。コロナ対策として「希望者全員への無料のPCR検査、医療従事者の待遇改善、生活困窮者への支援、自殺防止対策」などをはじめとした7課題77項目です。私からは初診に6ヵ月かかるきずな発達支援センターの体制改善、虐待・DV・自殺の増加に正規の心の専門家の配置育成、県内他市で制定や検討されている子どもの権利条例の制定を求めました。

==地域のみなさまの声==

校区のみなさまを中心に多くの方からいろいろな話を伺っています。これまで仕事中心の生活でしたので、知らないことも多くあります。今後は、問題を調査し改善に取り組んでいきます！

- 新しい住宅ができて数年後には小学生が増える。通学路の交通量が多くとても危険だ。
- すぐ近くの保育園がいっぱいで入園できない。
- 小学校が統廃合されると遠くに通うことになる。通学路に狭い道、踏切、危険箇所がある。
- 幼い子どもに発達の遅れがあるが、相談できる場所がない。
- 大雪の時、昨年のようなことがないように除雪をしてほしい。
- 営農だが、収益は上がらず将来の担い手がない。農作業中の事故やけがの保障がない。
- 高齢者を介護しているが、入所できる場所が見つからない。



電話やメールなどで、相談事などをお知らせいただければうれしいです。

所属委員会は民生病院常任委員会

民生病院常任委員会は、福祉・介護・医療など生活全般に関わることと市民病院に関することが所轄です。

委員会では、当局からの一方通行ではなく、部長や担当部署と具体的なことを質問し、やり取りができます。今回、私は子育て世帯臨時特別給付金について質問しました。事前通告が必要なことが多いのですが、この委員会でさまざまな疑問や要望を投げかけ、改善を迫りたいです。（下記の△、ホット！）を見てください



選挙中の慣れない街頭演説。車中からの応援に気持ちよく自分の思いを訴えました。

今、ホット！

てんやわんやの 子育て世帯臨時特別給付金

政府はコロナ禍の子育て世帯を支援するために10万円の子育て世帯臨時特別給付金の支給を決めました。第1弾は5万の現金と決定し、後の5万はクーポンとの政府案でした。第1弾の支給に担当課は年末までに準備を進めました。その後、クーポンの支給事務費が莫大であることが判明したことや、自治体長や国民の現金給付を求める声により、首相は国会でクーポンでも現金でも可能と答弁して現金給付が可能となりました。

高岡市でも市民の声や事務負担の軽減から現金給付と決定しましたが、この政府方針の二転三転は現場に大変な混乱をもたらしました。私は民生病院常任委員会で、政府に対し自治体が大変な混乱したことを伝えるように要望しました。

また、この給付金は9月30日の基準日の児童手当受給者に支給されますが、それ以降に離婚やDVなどで別居した養育者には支給されないという問題があります。これについても委員会で実際の養育者に支給することを求めました。しかし、国の制度がそうではないので、当事者間のやり取りで受け取ってほしいとの答弁でした。しかし、これは、給付金の趣旨が生かされません。当事者間で話し合えばむずかしく、結局は10万円をあきらめざるをえないと声を聞きました。

シングルマザーの経済的困窮と精神的負担は子どもにとってもつらいもの。10万円は実際の養育者に支給することを求め、立憲民主・社民議員団で市長あてに要望書を提出しました。



のだ悦子活動日誌

- 11月1日 当選証書授与式
 - 17日 新人議員研修会
 - 25日 議会運営委員会
 - 26、30日 新人議員研修会
 - 28日 Eフェスタ ワークショップ報告
 - 12月2日 市男女平等推進市民委員会
 - 3日 議員協議会、本会議
 - 8日 朝街宣、本会議
 - 加害者として戦争を考える12・8集会
 - 13、14日 本会議（一般質問）
 - 16日 議会運営委員会
 - 17日 本会議
 - 18日 選択的夫婦別姓を実現する会・富山例会、県自治研センター講演会
 - 20日 民生病院常任委員会
 - 21日 議会運営委員会
 - 23日 議会運営委員会、議員協議会、民生病院常任委員会、広報公聴委員会、本会議
 - 1月6日 広報公聴委員会
 - 8日 消防出初式
 - 9日 成人の集い
 - 19日 市農福連携セミナー
 - 26日 連合富山「2022政策フォーラム」
- 今後の活動予定
- 2月3日 民生病院常任委員会
 - 6日 立憲民主・社民連「新春講演会」
 - 11日 9条をまもり憲法をいかに富山県民の会 総会・講演会
 - 21日 運営委員会
 - 3月1、2、4日 本会議
 - 9、10、11日 本会議（一般質問）
 - 16日 本会議
 - 18日 民生病院常任委員会
 - 25日 本会議
- 市会議員として調査研究し、議会活動にめいっぱい頑張ります。また、地域の課題や困りごとの解決に取り組む、福祉・介護・医療の充実や働く者・女性の権利や平和を守る活動を行っていきます。

ご意見をお待ちしています

〒933-0833 高岡市荒見崎63
TEL/FAX 0766-31-0511 携帯電話 090-3888-1337
E-mail nodaetsuko.tg@gmail.com



角田市長の卒論は「夫婦別姓制度についてでした」一般質問の折、前向きな答弁を期待して、「市長の卒論テーマが選択的夫婦別姓制度についてだったと聞いています」と聞きました。これに対して市長は、「男性と生まれた以上、女性の目線を学びたいと思います」と説明されました。これについて紹介した12月15日の「富山新聞」は、市幹部から「高岡市男女共同参画委員も務め、さすがによく勉強している」との声が上がったことも伝え、同時に「存在感を示したデビュー戦になったようだ」とも書いています。



のだ悦子市議会レポート

高岡をもっと暮らしたいまちに

第2号

発行 2022年4・5月
発行人 高岡市議会議員
埜田(小嵐)悦子
立憲民主・社民議員団



初の新年度予算審議に挑戦

新型コロナウイルス感染症終息の見通しがたらず、制限された生活が続く、とくに子どもたちへの影響が懸念されます。そして、ウクライナ侵攻に心を痛めておられる方も多いと思います。

高岡市議会ではウクライナ侵攻に抗議する決議を出しました。また、私は会派の仲間と街頭で戦争を止めようと訴えました。

3月議会は角田市長にとっても私にとっても初めての新年度予算の審議でした。角田市長の「挑戦を生み、挑戦を支える新年度予算」に対して、私は働く者、女性、弱者の視点で質問・提案し、精一杯取り組みました。すべての議案が原案通り可決されました。

前に進める事業

- ◎ 自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）デジタル技術での変革
- ◎ まちなかスタートアップ（市街地での起業、事業承継の支援）
- ◎ 不妊・不育治療助成
- ◎ 保育園副食費補助
- ◎ 新幹線利用の宿泊費補助等

重要事業

- ◎ 公共事業（五位中学校区統合小学校や高岡西部中学校区小中一貫校、消防署改築、道路メンテナンス）
- ◎ 企業立地補助
- ◎ ICT活用の授業向上事業等

高齢介護と農政を一般質問

今議会では、高齢介護と農政について質問しました。特に「米農家への支援が不足しているのではないかと」市長と当局に改善を求めました。

介護職の待遇改善

コロナ禍での負担増への支援

質問 介護職は慢性的な人員不足であり、心身ともに負担の大きい仕事であるにもかかわらず、他業界に比べ5〜9万の賃金差があると言われている。問題認識と待遇改善の状況は？また、新型コロナ禍での事業所への支援は？

答弁 調査では約7割の事業所が人材不足と回答、人的基盤が課題である。平成24年から加算措置を実施している。コロナ感染症支援には衛生用品の提供や研修をしてきた。今後は職場の負担軽減のために周辺業務にシルバー人材センターから人材を充てる予定。



4月4日、米農家支援会での街頭活動

私の思い 加算は10年目となるが、それでも他業種との格差は大きく、働いてい

る現場の方々からは実感がないとの声が多い。介護は人と人がふれあい、気持ちの交流のある貴重な仕事であるが、その評価は低すぎる。

若い世代に介護職の魅力を伝え、職業選択を支援する取り組みを工夫してほしい。また、コロナ禍でもお年寄りや家族のニーズに応えようと頑張っている事業所に寄り添った支援を行うべきだ。

米農家への支援

学校給食でのご飯食の増加

質問 コロナ禍で米消費が落ち、米価が2千円下落した。肥料や燃料も高騰し農家は大打撃を受け、若者の農業離れに拍車がかかっている。小矢部市は米生産者に10アールあたり2千円の支援をする。当局も行うはどうか。

また、消費拡大のために学校給食のご飯の日を増やしてはどうか。

答弁 米価下落は農業に大きな影響を及ぼしている。米価の価格安定のため、高品質化と圃場大型化、スマート農業化、高収益作物転換を進める。資材等の高騰には施設園芸や畜産業のセーフティネットの充実を行う。学校給食は多様な食文化でバランスがとれている。

私の思い 新規就農者への支援など現在の施策は一部の農業従事者にしか対応していない。多くの米農家への支援が必要。JAいなばの小矢部市は支援があるのに、同じいなばに属している福岡にはない。国には個別所得補償を、市は米作農家が意欲を継続できる独自の支援を示すべき。

また、4月からの食料品値上げラッシュの中、米は値下がりしている。この機会に消費拡大策を求める。

米飯給食日数

市町村等	1週間当たり平均回数
入善町	5日
舟橋村	4.5日
富山市・滑川市 黒部市・砺波市 小矢部市 南砺市・朝日町 上市町・立山町	4日
氷見市	3.6日
高岡市・射水市 魚津市	3.5日
特別支援学校	3.8日
定時制	4.4日

学校給食では、他市なみの週4日の米飯給食にすべきと考える。

介護の質問に注目！

3月9日 一般質問と当局の答弁を聞いて



のだ悦子後援会長 有澤啓子
「市職員が市民に暴力をふるった事件」のことを、「事件の背景を考えるべき」として取り上げました。市は行革・財政再建で職員と給与の削減を行ってきました。そのせいで余裕のない労働環境になっていたのではないかと、職員は労働者であり生活者なのだから、「暴力を生む背景に目を向けるべき」との発言が心に残りました。

また、質問では高齢介護のことに注目しました。今後の介護サービス計画について、当局は、住み慣れた環境での生活を維持していくために身近なサービスをいくつか増やすことをあげていました。しかし、今後需要が多くなるのにそれでは足りるのかと思いました。多くの方は、今住んでいる地域や家で自分らしい生活を継続したいと願っています。ニーズに合わせた介護サービスになるよう、高齢者の意見をきちんと把握して計画してほしいと思いました。

埜田議員には今後も介護や福祉を注視し、その改善を求めていってほしいと思います。



上記のQRコードで、のだ悦子の議会一般質問と答弁を聞くことができます。

市政トピックス

高齢者・交通弱者のために

「高齢になり、運転免許を返納したらどこにも行けなくなる」という話をよく聞きます。コミュニティバスが廃止になり、公共バスや鉄道路線周辺地区以外の方々の不安は大きいのです。

昨年度は守山でタクシーを利用した市民協働型地域交通システムが試行されました。そして今年度は郡部を想定したマイカー乗合交通「ノツカル」(住民がマイカーを運転し、タクシー利用で都市部想定の前約乗合送迎サービス「チョイソコ」の実証実験が半年ずつ各一ヶ所で行われます。料金や地元負担がどうなるのか、気になります。必要とする地域が無理なく利用できるものとなるよう確認していきます。

財政健全化緊急プログラム

「財政健全化緊急プログラム」が令和3年度で目標額に達し、終了しました。財政の緊迫性に一区切りついたことは市民に明るい話題です。しかし、4年前に一緒に削減された補助金などは、一律に戻すのではなく、今後は意欲的なものや必要性が認められたものが予算化されると当局は答えました。

各地域や団体は、必要なことには声をあげていきましょう!!

要望すれば、変わる!

市役所案内図に男女平等・共同参画課と男女平等センターがない! オタヤセリオや福岡庁舎はあるのになぜ? と一般質問の数日前に発見。市長に「どうして?」とぶつけました。早急に対応するとの答弁があり、市民グループからの要望もあって、4月から表示されました。

今、ホット!

子育て世帯臨時特別給付金
私も10万円もらえました



コロナ禍の支援として、昨年12月に決まった「子育て世帯特別給付金」は、10月以降に離婚や別居した実際の養育者に支給されない問題があり、私も常任委員会に取り上げました。当事者の声が国会や自治体に多く届けられ、立憲民主党などが政府に改善を強く迫りました。その結果、政府を動かして、真の養育者に10万円が支給されることになりました。

担当課は3月に該当者に通知を出しました。私のスマホに「おかげさまで10万円もらえます」といううれしい報告がありました。

福田女性の集い

地域の男女共同参画をめざして

地域には男女半々いるのに、地区自治会の集まりは男性がほとんど。女性の思いが地域に必要と、自治振興会長の声掛けで福田地区の女性が集まりました。

「福田ってこんなよいところがある」「こうなったらほしい」のワークショップ。

市職員のサポート受けながら、世代はいろいろ、地域での生活年数

もいろいろで、ワイワイガヤガヤ話は弾みました。女性

が声をあげる最初の一步でした。



ウクライナに思う

一刻も早い停戦を

どんな大義名分があろうとロシアの侵攻は許されない。殺戮や力での支配はNo!と世界中の国が言っている。戦争の悲惨さが伝わるほどロシアへの非難が増えている。高岡には伏木港があり、貿易などが行われている。また、40余人のロシア国籍の方が生活しているが、けつしてその方々に責任があるわけではない。社会や学校で生活しにくくなっているか懸念される。

政府は国際情勢の変化に対応が必要とよく言う。

そうして防衛費は年々上がる。軍備が増えるほど戦争に近づく。日本は軍拡を止め、外交に全力を注ぐべきだと思う。



一般質問に農業問題を取り上げて

“政治”が解決すべきこと

まわり中が田んぼの地域に住み、農業は身近なことだが、よくわかってなかった。そこで、農政の質問をするのに、県農協委員長・篠島良幸さんに相談すると、ぜひ取り上げてほしいと話をされた。

以下は篠島さんの意見。

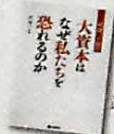
兼業が当たり前になり、その結果作りやすい米作に偏り、人口減や食生活の変化により米余り、そして収入減の悪循環となっている。政府はコスト削減のためさらに規模拡大を進めているが、担い手不足などは、それだけでは解決しない。経済的視点のみでなく、国土保全・食文化など農業の役割は重要である。個別所得保障を行い、農業が安定する施策をすべきだ。そのためには10a当り2千円の補助はわずかながらあるが大事な施策であり、高岡市は是非実施してほしい。



のだ悦子活動日誌

- 2月3日 民生病院常任委員会・地財セミナー
- 6日 立憲民主党県連「新春講演会」
山としひろ後援会結成総会
- 7日 原水爆禁止高岡協議会 理事会
- 18日 Nプロ「議員と市民の勉強会」
- 26日 「選択的夫婦別姓を実現する会・富山」
総会・記念講演
- 3月1日 ビキニディー街頭宣伝活動
- 1、2日 本会議
- 4、9、10、16日 本会議(一般質問)
- 6日 ウクライナ侵攻抗議イオン横街頭宣伝活動
- 8日 国際女性デー朝街頭宣伝活動
連合高岡地域協議会「春闘勝利総決起集会」
- 13日 「棘2〜ひとの痛みは己の痛み」上映会
- 18日 民生病院常任委員会
- 19日 ウクライナ侵攻抗議・参議院選挙市内街宣活動
- 25日 本会議
- 26日 立憲民主党富山県連大会
- 27日 福田地区女性の集い
- 4月7日 広報公聴委員会
- 22日 民生病院常任委員会
- 今後の活動予定
- 5月3日 憲法キャラバン
- 5月6日 原水爆禁止高岡協議会 理事会
- 7日 憲法の話「檻の中のライオン」in 富山
- 14日 大人の社会科カフェ「山さんと語ろう会」
- 6月7日 本会議
- 13、14日 本会議(一般質問)
- 16日 民生病院常任委員会
- 21日 本会議

3月13日、関西生コン労組の武健一執行委員長の映画を観ました。「一人では経営者に立ち向かえないから、組合の役割がある」と。



武健一氏の著書

ご意見をお待ちしています

〒933-0833 高岡市荒見崎63
TEL/FAX 0766-31-0511 携帯電話 090-3888-1337
E-mail nodaetsuko.tg@gmail.com



のだ悦子
twitter



のだ悦子
facebook



のだ悦子市議会レポート

高岡をもっと暮らしたいまちに

第3・4合併号

発行 2022年10・11月
発行人 高岡市議会議員
埜田(小嵐)悦子
立憲民主・社民議員団



6月・9月定例会報告

今年度初めての議会報告は6月議会と9月議会の合併号です。両議会とも市政全般の一般質問を行いました。表面は9月議会、裏面は6月議会です。

9月議会報告

9月は新型コロナウイルス感染症が再度増え始め、物価高騰に拍車がかかりました。また、私の住む隣接地区の立野での幼いお子さんの事故があり心を痛めました。補正予算は私たち党派が以前より必要と訴えていた学校給食や保育園、老人施設や障がい者施設の給食や食料費の補助が盛り込まれました。また、バス・タクシーなどの公共交通機関や公衆浴場への燃料費の支援が提案されました。しかし、支援はこの10月から来年3月までの半年間で十分とは言えません。

生活困窮者支援

物価高の影響を最も受けるのが、生活保護受給者や生活困窮者です。富山県は何年も生活保護受給率が全国最下位です。病气や高齢になり自分の力で生活ができなくなることは誰にでも起こりうることです。自助が限界を超えたら公助が届く仕組みが必要です。

質問 コロナ禍の中、全国的には保護世帯は増えているが、当市の状況は？

答弁 生活保護相談件数は、コロナ前の平成30年度が245件だったのが令和3年度は348件と増加している。保護率は平成30年度が0.421%で、令和3年度が0.410%。母子世帯は平成30年度が1.8%、令和3年度が2.0%。

質問 平成27年度に設置された総合相談窓口と昨年度にできた福祉連携推進室への相談状況は？

答弁 総合相談窓口への相談件数は平成27年度は105件、28年度144件、以降は横ばい、令和2年度478件、3年度767件。経済的困窮の背景要因として就労活動や定着の困難さ、ひきこもり、障がいのある家族がいるなど、様々な困りごとを抱えていることが見えてくる。チラシを配布し、困り事を丸ごと受け止め、各機関の連携の仕組みにつながるよう努めている。

最も弱い立場の人の目線市政を

私の思い コロナ前と比較し生活保護相談も総合相談も件数が大変多くなっている。特に生活保護に至る前の総合相談は何倍も増えている。しかし、全国で増えている生活保護率が本市は下がっている。扶養照会義務や通勤に必要ななどの車の所持も幾分か緩和された。コロ

ナ禍と物価高で困窮を極める方が一時的にでも保護に結び付き、また、自立支援相談窓口の役割をより強化してほしい。

旧統一教会の問題

質問 霊感商法や信者2世のことが大きな問題である反社会的な旧統一教会の関連団体に市が過去3年で5件の後援をしている。中には女性の性的自己決定権を否定する中絶反対の趣旨の講演もあった。これは市の男女平等施策に反している。このことと今後の関係を問う。

答弁 関連団体を把握できず、団体に本市が賛同を与えているかのような疑念を与えかねないことを反省している。また、今後は旧統一教会の関連団体への後援は行わない。

私の思い 昨年5月には角田市長が関連団体主催の講演会で講演を行い、市が後援をした。旧統一教会は多額の献金の強要により生活が立ちいかなくなる人がいたり、2世の深刻な問題も報じられている。市長を含め行政がこれまでのことを調査、報告し、また、声を上げられない被害者が相談しやすい窓口を設置し、周知していくべきと考える。

まちなかにぎわいづくり

9月議会でもまちなかにぎわいづくりとして、今年度3回の御旅屋人マーケットに1300万円の予算が計上された。

質問 御旅屋人マーケットの効果と今後の予定は？

答弁 リノベーションまちづくり事業の一環で、子育てや若者層などを呼び込み、出店者にはテストマーケティングとして活用してもらい開業につなげたい。



9月12日、立憲民主・社民議員団で「国葬反対」を申し入れた。河村副市長が対応された。

今後でも中心市街地活性化基本計画に基づき、様々なイベントや開業支援等を行っていく。

私の思い 大型ショッピングセンターや新幹線駅により駅南に人が流れる中、駅前商店街は新しい店もできていくが、それ以上に空き店舗が増えている。今後、費用対効果の検証を行い、長期の視点を持ったまちなかにぎわいづくりが大切と考える。

民生病院常任委員会トピックス

●放課後デイサービスについて

障がいがあったり発達に特性のある子どもをサポートする放課後デイサービスを行う事業所で昨年度児童の複数の事故等があり閉鎖となった。この経過と利用していた児童のその後の受け入れ状況を質問した。そして、療育の質の向上と保護者の相談体制の充実を求めた。

●自治会行事補助について

活動の後押しのために3万円程度の支給が提案されたが、自治会の行事がほぼ決まった時期での提案は遅いといえる。左義長や次年度に向けた準備も対象となっており、少なくなっている地域の交流のために利用を呼びかけたい！

※「旧統一教会等による被害の防止・救済を求める意見書」がわが会派の呼びかけにより一部修正し市議会でも可決となった。



上記のQRコードで、のだ悦子の9月議会一貫質問と答弁を聞くことができます。

6月議会報告

市長は6月議会の市政方針演説で、『持続可能な未来都市高岡』は、市民一人ひとりが個性や能力に応じて何事にも挑戦することであり、市役所がそれを支え、市民とともに未来都市をつくりていきたい。人口減少社会に対し、移住定住促進や子育て支援・出生率改善を図りたい」と所信を表明しました。

私、埜田はそのためには、高齢の方や障がい、病気の方々などすべての方が市民として尊重されていると実感できる高岡にしたいと思っています。また、以前より行政や福祉・自治に関心を持ち、活動し、市に提言された方々の意見が反映される市政をめざします。

6月には新型コロナウイルス感染症が幾分落ち着きを見せました。一方、ウクライナ戦争が長期化の様相を呈するなか、継続する物価高騰に対し、低所得者への給付が国において決定されました。そこからもこぼれ落ちる方や非正規などで低賃金で生活が厳しい状況の方々に対する支援が求められます。

会計年度職員の待遇改善

高岡市役所には会計年度職員が職員全体の約4分の1も働いています。市民課など私たちがよく利用する窓口や男



高岡市議会議場 2列目の一番右が埜田

女平等推進センター、消費生活センターなどの相談機関や学校司書など多様な部署で仕事をしていきます。その方々の待遇はどうなっているのでしょうか。

質問 会計年度職員の位置付けは？また、現在無い期末手当の支給を求める。

答弁 正規ではなくても実施可能な定型業務や、専門的な知識が必要でも常時勤務を要しない職を会計年度職員が担っている。賃金は社会情勢や各職種の人員確保の状況などから決定している。また、期末手当は県や他市においても支給されておらず、当市でも支給しない。

私の思い 相談機関等の会計年度職員は10年以上その業務に携わっていたり、会計年度職員しかその業務をしていない職種もある。専門的な業務を担う職種も多く、責任と実績に見合っていない。不足している保育士（非正規）では他市の時給が高いからと本市が選ばれないこともあると聞く。業務に見合った賃金単価などの改善と臨時業務以外の正規化を求めたい。

教員多忙化の解消により教育現場の改善を！

教員の多忙化は長く問題になってい

ます。不登校や個性豊かな多様な子どもたちに対応するためにはこの改善が最重要課題です。

質問 多忙化解消の具体的な取り組みは？そのための補助業務の担い手であるスタディメイトやICT支援員の配置の状況はどうか？

答弁 教員の多忙化は子ども達と向き合う時間や教材研究の時間が不足し、喫緊の課題と考える。管理職を始めとした意識改革、ICTの活用、週2回のノー部活動、業務の見直しをしていく。多忙化の目安である残業時間が月45時間を超える教員は平成元年度と令和3年度を比較すると数%から数十%減少している。スタディメイトは今年度1人増員し43人に、ICT支援員は3人増加し7人とした。

北陸3県教員採用倍率

	富山県	石川県	福井県
R3年度	2.1倍	3.4倍	4.0倍

富山県の約10年前、平成24年度（2012年度）の倍率は3.9倍

私の思い 時間外の数字から若干の改善は見られるが、全く不十分である。富山県の教員採用試験の倍率は今年もまた下がった。隣接県に比べてもその倍率の低さは目を引く。（右記表参照）

教員の仕事は魅力的でなければ今後ますます倍率は下がり悪循環である。教員の根本的な定員増が必要であるが、市としてできるスタディメイトの増員やICT支援員の全校配置などで多忙化の解消を行うべきである。

また、不登校の子どもへの個性に応じた学びの場の保障ができていないか、さらに夏場にに向けて外せなくなっている不必要なマスクの指導も求めた。そして、今年度は現に起きているクライナ戦争を題材

にした考える平和教育を提案した。その他に男女平等に関しても認知度が低い「男女平等推進センター」（ウイングウイング6階）の周知と活用について、また、今年4月に改正になった「育児・介護休業法」で求められている民間企業の男性の育児休業取得の促進についての施策を質問した。

民生病院常任委員会トピックス

●子ども達のマスクは必要？

コロナ感染症対策で保育園でも三歳未満児以外はマスク着用が進められ、夏場に屋外や一人でいても外さない子どもも見られる。保育者や子どもたちがマスク着用を求められて3年目になり、情緒の発達が心配され、その影響を尋ねた。

●福祉施設の燃料費の補助を要望

昨年度末に一定の補助が行われて助かったとの声を聞く。しかし、ガolin・電気代の値上げは続き、今後の見通しが立たない。ぎりぎりの運営を強いられつつある福祉施設に再度の補助を要望した。



3月定例会で「ロシアによるウクライナ侵略を強く非難する決議」を可決しました。その意味を込めて、5月30日の「非核・平和行進」で世界中の核廃絶を訴え、行進しました。

のだ悦子活動日誌

- 4月7日 広報広聴委員会
- 22日 民生病院常任委員会
- 5月19日 議員説明会
- 23日 民生病院常任委員会
- 6月7～21日 6月定例会
- 7月6日 広報広聴委員会
- 14日 民生病院常任委員会
- 8月10日 行財政改革特別委員会
- 31日 広報広聴委員会
- 9月8日～31日 9月定例会
- 10月11日 広報広聴委員会
- 18日 民生病院常任委員会
- 20、21日 民生病院常任委員会視察
- 今後の予定
- 11月1、2日 行財政改革特別委員会視察
- 4、7、8、11月 決算特別委員会
- 17日 民生病院常任委員会
- 24日 行財政改革特別委員会
- 12月1～20日 12月定例会

ご意見をお待ちしています

〒933-0833 高岡市荒見崎63
TEL/FAX 0766-31-0511 携帯電話 090-3888-1337
E-mail nodaetsuko.tg@gmail.com



上記のQRコードで、のだ悦子の6月議会一貫質問と答弁を聞くことができます。

ともに支えあう社会をめざして

のだ悦子市議会レポート

高岡をもっと暮らしたいまちに

第5号

発行 2023年1・2月
発行人 高岡市議会議員
埜田(小嵐)悦子
立憲民主・社民議員団



初の議会報告会を開催

議員となって丸一年経った11月20日、地元辻公民館(構造改善センター)で、後援会総会と議会報告会を開催しました。一年前に応援いただいた地域の方々や高岡市内の働くみなさん、昨年まで一緒に働いた福祉職場の仲間たちなど七〇人余りの方々に駆けつけていただきました。ありがとうございます。

有澤後援会長挨拶

地域にレポートを何回か配布して、「埜田さん、あつ小嵐さん

ね」と言われ、レポートを読んでもおられた。夫婦別姓と議員活動が浸透してきている手ごたえがある。今後も支えていきたい。鴨野自治労県本部委員長挨拶

選挙の協力、応援に感謝している。今後は、議員として地域の課題などを解決するよう、皆さんで育てていってほしい。

毎日が勉強

一年生議員は、議場での挨拶から質問のルール、市役所の何階に何課があつてなど、初めてのことだらけで毎日が勉強でした。三カ月に一度の定例会では必ず質問し、議会が終われば議会報告を作り、それを繰り返して、あつという間の一年でした。「議員はどう？」と聞かれたら「とっても大変！」でも、「それ以上に、議員にすごい力があることがわかった！」と答えます。その力を皆さんの役に立てるために使うことが期待に込めることになると思っています。地域の皆さんの声を聞きながら活動したいと思っています。

福祉の経験を生かして

私の議会活動は、35年間の福祉の仕事、働く者を大切にする労働運動、そして男女平等や平和などの市民運動が原点となっています。

行政の予算が適切に使われているか、声があげられない方々の思いが届いているか、そんな視点が必要だと思っています。

議会質問でよく取り上げられるのは、中心市街地のまちづくり、少子化対策、稼働力、デジタルトランスフォーメーション、カーボンニュートラル、少子化対策などです。農業分野や高齢者福祉は少ない分野です。ましてや障がい者福祉はともないうです。議員以前の経験が反映されます。企業の経営者であれば、その分野の質問が中心になります。なので、福祉や教育、医療をよくするにはその業界に身を置いた議員がもっと必要で



激励に駆けつけた井加田議員

す。そんな思いで一年を振り返り、議会報告をしました。

意見交換

三人の方から積極的なご意見を頂きました。

- ① 庭木を剪定した枝木の処分を何とかしてほしい。砺波市では防風林の回収をしている。(12月議会で質問しました。裏面参照)
 - ② 高岡には他市にはないこまどり支援校ときずな学園があり大切な場だ。しかし、予算が削られてきており、ここにも関心をもつてほしい。
 - ③ 再就職で障がい者施設で働き始め、その実態に驚いた。改善が必要だ。がんばってほしい。
- 埜田悦子は、みなさんの思いに背中を押していただきました。新たな一年に向かい頑張ります。その後、マジシャンコンプレッサーさんの軽妙な話術に乗ったカード、紐などのマジックで楽しみました。



12月定例会報告

コロナが第8波となり、そして、円安は止まらず物価は上がり続け、電気代も1.5倍!! 防衛費も1.5倍という。これで不安になるなど言われてもムリ…。

12月定例会の一般質問では、放課後児童クラブや放課後等デイサービス、家庭の枝木回収のあり方を質し、市民に寄り添った市政を当局に求めました。

私の質問した日は12月8日。この日は81年前に真珠湾攻撃で太平洋戦争を始めた日。質問冒頭で、歴史に学ぶことの大切さ、そして、今政府が進めている防衛費の倍増では決して平和にならないと述べました。

放課後児童クラブ

放課後等デイサービス

質問 「小一の壁」は働き続ける母父にとって大きな問題。そ



南条小学校放課後児童クラブ

の解決のためには放課後児童クラブはなくてはならない存在だ。しかし、入れなかったとか、迎えが間に合わないという声も聞く。制度の拡充と支援員の方の待遇改善を求める。

答弁 入所数は上がり続けている。今後も公設の維持と民設の支援を継続する。昨年度支援員の処遇の改善を行った。市ホームページで求人掲載するなど、協力を行っている(福祉保健部長)

質問 障がいがある子どもの放課後等デイサービスの事業所で数年にわたり骨折事故があった。放課後等デイサービスの課題の認識と保護者の不安への対応状況を聞く。また、事業所の技術向上のために研修を求める。

答弁 障がいの状態による要望への対応ができない事業所がある。保護者の不安は相談支援専門員が受け、社会福祉課が問題解決のための調整を行っている。相談支援専門員には定期的に研修や情報交換を行っている。(同)私の思い 子どもの数が減少しても、放課後児童クラブも放課後等デイサービスもニーズは高まっており、希望する子どもた

ちが入れるよう拡充が必要である。放課後等デイのほとんどは小規模で相談支援専門員を置いていない。また、保護者は事業所に思いや要望などを言えないでいるのではないか。研修は直接放課後等デイサービス事業所に對して行うべきである。(同上)

剪定で出る枝木の回収

質問 農村部の庭木の剪定で出る大量の枝木を燃えるごみとすのはごみ減量化と逆行する。砺波市のように枝木を回収し、木質原料とするのはどうか。

答弁 枝木の焼却はリサイクル率の課題と認識している。市民が出しやすく、リサイクルが推進される手法を検討している。(生活環境文化部長)

パートナーシップ制度

質問 パートナーシップ制度についての本市の考えは。

答弁 県と足並みをそろえて検討を進めたい。課題が想定され、対応のための相談窓口を整え、啓発に努める。(市長)



のだ悦子の議会一般質問と答弁を聞けます。

上北島の火災 お見舞い申し上げます

12月3日午後、上北島地内でアパート2棟と一戸建3軒が全焼し、一人がお亡くなりになりました。被災者の人数も多く、上北島公民館で寝泊まりする方もありました。自治会長や役員を中心に市役所と交渉して市営住宅の入居手続きなどを進められたと聞き、地域の方々の助け合いに胸が熱くなりました。行政の被災者支援のマニュアルの周知が必要と感じました。被災された方が早急に新たな生活を築かれることを願っています。

● ご意見をお待ちしています

〒933-0833 富山県高岡市荒見崎 63

☎ 0766-31-0511 📠 090-3888-1337

E-mail nodaetsuko.tg@gmail.com

12・8 加害者からの戦争を考える集会に参加

例年開催されている集会、今年は「自民党政治と旧統一教会」と題し、高岡在住の富大非常勤講師の斉藤正美さんの講演を聞きました。旧統一教会のジェンダー政策への影響を知り、個人を大切にしない政策は戦争へとつながることを学びました。

二〇二三年度要望書を提出
12月21日、立憲民主・社民議員団で市長へ要望書を提出。物価高への支援、きずな子ども発達支援センターの改善・充実、子どもの権利条例の制定などを求めました。

報告

所属常任委員会が産業建設常任委員会になりました。



ともに支えあう社会をめざして

のだ悦子市議会レポート

高岡をもっと暮らしたいまちに

第6・7合併号

発行 2023年7・8月
発行人 高岡市議会議員
埜田(小嵐)悦子
立憲民主・社民議員団



3月・6月定例会報告

両議会とも市政全般の一般質問をしました。表面は6月議会、裏面は3月議会報告です。

6月議会報告

今年度の市政は「挑戦を加速」がテーマ。しかし、挑戦したくてもできない人達もいます。すべての世代の方々が挑戦できる環境になっているでしょうか。高齢の方々に支援が届いているかをチェックしました。

出生率の低下に伴い、少子化・子育て対策を求める声は高くなっています。雇用の非正規化などの社会不安も根底にあります。また、これまで子育て予算も全くと不足でした。とはいえ、その議論の中で、これまで高齢者に予算が行き過ぎていたから、それを子どもに回すべきという意見を聞きます。そうでしょうか。今の高齢者は厳しい戦後期、高度経済成長期を生き延びました。介護保険制度ができ、一定の介護が受けられるようになりましたが、それも十分なものではありません。世代間で財源を奪い合う議論ではなく、すべての世代が安心できる政策が必要です。



高岡市議会 会派控室で執務中！

上記のQRコードで、のだ悦子の6月議会一般質問と答弁を聞くことができます。

高齢者福祉・介護

介護事業所はコロナで利用が減ったり、利用者数を制限せざるを得ないところもありました。また、事業所は介護報酬で決められた予算内での運営であり、価格転嫁できず、経営はこれまで以上に大変です。その上、人材不足はより深刻になっていて、行政による支援が必要との思いで質問しました。

質問 介護事業者の閉鎖などの状況は。また、介護職(介護福祉士・ケアマネジャー)の人材確保とその支援策は。また、今年度から導入した民間保育園に就職した保育士に20万円支給する支援策を同じ人材難の介護職に対しても行うことを求める。

答弁 廃止が3事業所、休止が2事業所ある。県は介護人材養成のために学費や就職時の準備金の支援をしている。本市では昨年度からシルバー人材センターで介護助手のマッチング支援を行っている。しかし、それでも人材不足は解決していない。今年度策定する第9期市高齢者福祉計画の中で検討していきたい。(福祉保健部長)

質問 特別養護老人ホームの入所待機者数、また、認知症高齢者とその家族の方への支援策はどうなっているか。

答弁 入所待機者はここ数年、2000人余りで推移している。また、認知症の方や家族がつかえる場として、月一回認知症カフェ「オレンジ倶楽部」を開催している。行方不明時の支援としては「SOS緊急ダイヤルシステム」や衣類などにつけるQRコード付きのシールがある。(同)

私の思い 人材難と経営難で介護事業所はますます維持が困難となっている。休止・廃止となり、サービス低下になっている。燃料費の支援はあるが、高騰分の半額であり十分とはいえない。また、北信越のなかでも本県は認知症の行方不明者が一番多く、用水路が大変多いこともあり、危険度は高い。

これまでの支援策では家族の負担が減らず、行方不明時の不幸な事態も繰り返されかねない。対策が必要で、今後も要望していきたい。

市民病院産科の休診問題

質問 産科医の不足による産科休診は総合病院である市民病院にとり大きな痛手、今後の見通しは。また、医師数は産科に限らず減少している。従来以上の医師の確保策を問う。



答弁 昭和26年の開設以降、70年余り分娩を扱ってきた中で、大学からの医師派遣中止により、分娩を休止するのは非常に残念。今後も大学に派遣要請をしていく。就業環境を整え、研修医の受け入れを積極的に行う。また、国・県・医療関係団体とともに取り組む。(市民病院長)

私の思い 突然の産科休診に驚かれた市民から不安の声が聞く。医師の確保が難しいことは想定されていた。市民病院の医師全体が減少している中、設置者である市はその確保に動くべきである。今後注目していく。

男女平等推進—相談事業

質問 男女平等推進センターの相談状況と、そこから見える現状と必要な支援について。

答弁 6割がDV相談で、40代、50代が多い。警察等への同行、書類作成などの支援を行っているが、相談の多くは長期化している。

私の思い DV相談や女性の自殺率も増加している数字が表すように、女性たちは生きにくさを抱えている。県内で二つしかない配偶者暴力支援センターでもあり、その役割は大きい。また、若者の自殺や孤立も問題で、来所と電話相談のみの現在の体制からSNSでの対応も実施すべきである。

国会ウォッチ

6月通常国会は防衛・外交という国の根幹にかかわる法律やマイノリティの人権にかかわる重要な法律が問題を残したまま制定された。一つ目は、防衛費を欧米などと同率の国家予算の2%に大幅に増額、今後5年間で2倍の43兆円になる。しかも、ここ数年その軍拡が周辺国との緊張を高めてきた。また、私たちの生活や福祉に充てる財源が大幅に減ることになる。

二つ目は、問題が多い入管法とLGBT法。難民認定率が他国に比べ極端に低い日本。入管施設で治療を受けられず死亡したウイシマさんの事件があったが、不当な扱いや長期収容が続いている。3度目の認定申請で命の危険がある本国に強制送還されることもある。入管法は今、難民や外国籍の方々を大きな不安と恐怖に陥れている。また、LGBT法だが、これまで生きにくさを抱えてきた性的マイノリティの方々の人権を守る法律とはならず、差別を助長する恐れがある。

さらに、防衛予算に比べ全く不十分な子ども支援策、これまで認めてこなかった40年を超える原発稼働年限を60年まで延長可能とする法律、そして、問題だらけなのに紙の保険証の廃止を決定しているマイナンバー制度等々...

解散は首相の特権?!

6月に吹き荒れた解散風。まだ任期の半分にもなっていない。与党が勝てる時に総選挙をするって?

誰のため、政治なのかと考える日々。



連合高岡地協「女性の労働相談」朝街宣

ともに支えあう社会をめざして のだ悦子市議会レポート

高岡をもっと暮らしたいまちに

第9・10合併号

発行 2024年4・5月
発行人 高岡市議会議員
埜田（小嵐）悦子
立憲民主・社民議員団



能登半島地震から4カ月になろうとしています。被害にあわれたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

3月議会報告

地震後初めての定例会。液状化など深刻な被害を受け、生活再建の見通しが立たない方もいます。今、一番寄り添うべきは被災者ではないかとの思いで質問しました。なかでも災害弱者（高齢者、障がい者、女性など）の支援状況等を尋ねました。

災害弱者の避難支援

質問 要支援者は一般の避難所に移ることに上り必要に応じて福祉避難所に移るようになっていくが、重度障がい者や車いすの方にとって、災害時の避難所から福祉避難所への移動はリスクが高いのではないかと。避難所から福祉避難所への移動は交通事業者との災害協定により福祉車両で移動することになる。移動が負担となる方には個別避難計画の策定をお願いする。（総務部長）

ジェンダー視点の防災講座の実施

質問 男女平等推進センターでジェンダー



初めての一問一答形式での一般質問

上記のQRコードで、のだ悦子の3月議会一問一答と答弁を聞くことができます。

視点の防災講座の実施を検討してはどうか。

答弁 避難所の開設、運営、環境整備等では男女のニーズの違いに配慮が届くように女性参画の必要性を地域に啓発する必要がある。そして、防災活動に取り組んでいる団体と連携して男女共同参画の視点を取り入れた地域防災の啓発につなげる講座を検討したい。（生活環境文化部長）



伏木地区では液状化現象で電柱が沈み傾いた

災害対応の検証は幅広く

質問 災害対応を検証するため、高齢者や若者、女性など声が届けにくい方々の思いをどのように聞くのか。また、避難所を利用した方々の意見を集約すべきではないかと。答弁 連合自治会に対してアンケートを行い、高齢者や若者、女性など幅広く意見を伺いたい。また避難所利用者への質問もこのアンケートに盛り込み集約する。（総務部長）

原子力災害対策は見直し

質問 道路の寸断の激しさは原発事故での避難が不可能なことを示した。志賀原発は想定外の地震を考慮するべきであり、市民の命と安全を守るのが行政の役割である。原子力災害対策も見直しが必要ではないか。答弁 原子力防災は国の計画、指針に基づき計画を策定している。今後とも、県の防災基本計画等の見直しに合わせて見直す。（同）

私の思い 要支援者の避難と避難所での生活は大きな課題だ。今回の地震では被害が大きかった地区でも福祉避難所は開設されなかった。寝たきりや車いすの方が避難所に行きづらかった。福祉避難所に移動することは道路の陥没や余震の中、2次災害にもつながる。要支援者が直接福祉避難所に行くことを検討すべきではないか。

放課後児童クラブの支援拡充

質問 地元小学校の学童クラブは希望しても入れない子どもが年々増えている。保護者が安心して働けるように改善策が必要であり、市が積極的にサポートするべき。答弁 公設民営の学童クラブの場所確保には教育委員会、地域と協議し設置の検討を進める。民設民営の学童クラブは補助対象を広げ支援を拡充した。（福祉保健部長）

重層的支援事業の整備

質問 重層的支援の相談窓口が今年度から加わった包括支援センターと障がい者相談事業所は専門分野以外の相談にどう対応するのか。事業所の理解が得られるようにすべきである。答弁 相談窓口では、問題は

高岡市における重層的支援体制整備事業の全体像



第2回議会報告会開催

昨年11月26日に荒見崎公民館で議員になって2回目の議会報告会を開催しました。1年に1度ですが、後援会や地元の方々など日ごろお世話になっているみなさま約50人が参加され、ともに1年間の議会活動を振り返りました。



私は、年4回の議会でも、福祉（高齢者、子育て、保育士配置基準の見直し、障がい者、学童クラブ）や男女平等、農業、家庭の技術ごみの処理等の質問をしました。会場からは角田市政の評価を聞く質問がありました。私は、市長は行動力と発信力が高いが、昨年ビジネスクラス利用が問題になり批判が高まったように、市民感覚の理解と福祉分野の取り組みが不十分であると考えています。

報告会のあとはおでんさんの落語を楽しみました



12月定例会報告

コロナが第8波となり、そして、円安は止まらず物価は上がり続け、電気代も1.5倍!! 防衛費も1.5倍という。これで不安になるなど言われてもムリ…。

12月定例会の一般質問では、放課後児童クラブや放課後等デイサービス、家庭の木枝回収のあり方を質し、市民に寄り添った市政を当局に求めました。

私の質問した日は12月8日。

この日は81年前に真珠湾攻撃で太平洋戦争を始めた日。質問冒頭で、歴史に学ぶことの大切さ、そして、今政府が進めている防衛費の倍増では決して平和にならないと述べました。

放課後児童クラブ

放課後等デイサービス

質問 「小一の壁」は働き続ける母父にとって大きな問題。そ



南条小学校放課後児童クラブ

の解決のためには放課後児童クラブはなくてはならない存在だ。しかし、入れなかったとか、迎えが間に合わないという声も聞く。制度の拡充と支援員の方の待遇改善を求める。

答弁 入所数は上がり続けている。今後も公設の維持と民設の支援を継続する。昨年度支援員の処遇の改善を行った。市ホームページで求人掲載するなど、協力をを行っている(福祉保健部長)

質問 障がいがある子どもの放課後等デイサービスの事業所で数年にわたり骨折事故があった。放課後等デイサービスの課題の認識と保護者の不安への対応状況を聞く。また、事業所の技術向上のために研修を求める。

答弁 障がいの状態による要望への対応ができない事業所がある。保護者の不安は相談支援専門員が受け、社会福祉課が問題解決のための調整を行っている。相談支援専門員には定期的に研修や情報交換を行っている。(同)私の思い 子どもの数は減少するが、放課後児童クラブも放課後等デイサービスもニーズは高まっており、希望する子どもた

ちが入れるよう拡充が必要である。放課後等デイのほとんどは小規模で相談支援専門員を置いていないため、保護者は事業所に思いや要望などを言えないでいるのではないか。研修は直接放課後等デイサービス事業所に對して行うべきである。(同上)

剪定で出る枝木の回収

質問 農村部の庭木の剪定で出る大量の枝木を燃えるごみとして出すのはごみの減量化と逆行している。砺波市のように木枝を回収しに木質原料とすることを検討しては。

答弁 枝木の焼却はリサイクル率の課題と認識している。市民が出しやすく、リサイクルが推進される手法を検討している。(生活環境文化部長)

パートナーシップ制度

質問 パートナーシップ制度についての本市の考えは。

答弁 県と足並みをそろえて検討を進めたい。課題が想定され、対応のための相談窓口を整え、啓発に努める。(市長)



上北島の火災 お見舞い申し上げます

12月3日午後、上北島地内でアパート2棟と一戸建3軒が全焼し、一人がお亡くなりになりました。被災者の人数も多く、上北島公民館で寝泊まりする方もありました。自治会長や役員を中心に市役所と交渉して市営住宅の入居手続きなどを進められたと聞き、地域の方々の助け合いに胸が熱くなりました。行政の被災者支援のマニュアルの周知が必要と感じました。被災された方が早急に新たな生活を築かれることを願っています。

● ご意見をお待ちしています

〒933-0833 富山県高岡市荒見崎 63
☎ 0766-31-0511 ☎ 090-3888-1337
E-mail nodaetsuko.tg@gmail.com

12・8 加害者からの戦争を考える集会に参加

例年開催されている集会、今年は「自民党政治と旧統一教会」と題し、高岡在住の富大非常勤講師の斉藤正美さんの講演を聞きました。旧統一教会のジェンダー政策への影響を知り、個人を大切にしない政策は戦争へとつながることを学びました。

二〇二三年度要望書を提出
12月21日、立憲民主・社民議員団で市長へ要望書を提出。物価高への支援、きずな子ども発達支援センターの改善・充実、子どもの権利条例の制定などを求めました。

報告

所属常任委員会が産業建設常任委員会になりました。



ともに支えあう社会をめざして

のだ悦子市議会レポート

高岡をもっと暮らしたいまちに

第11・12合併号

発行 2024年10・11月
発行人 高岡市議会議員
埜田(小嵐)悦子
立憲民主・社民議員団



自民党政権は統一教会問題も裏金問題も解決せず、総裁が交代し、石破政権が誕生しました。「自民党を変える」と言っていた石破首相ですが、真に国民のほうを向いた政治になるか注目していきます。

9月議会報告

私の住んでいる福田地区には、多くの田畑が広がり、米や大豆、麦、野菜等を作っています。食料を作る大事な農業ですが、外国産との競争にさらされ米価が低く押さえられてきた上に3年前からの物価高騰の中、収益は減少し、農業離れに拍車がかかっています。

希望の持てる農業を！

質問 資材・肥料の高騰に対して、昨年度はその一部について県と市から10アール当り9000円の支援があったが、継続して高騰しており、今年も支援が必要では。

答弁 米の概算金が前年より3000円今年は上乗せされた。これは資材や肥料のコストも踏まえたものと聞いている。価格転嫁が進んでおり市場動向を注視していくが、今のところ支援の予定はない。(産業振興部長)

兼業農家

質問 では会社を休めず農業に支障が出る。企業等に対し休暇の取得がしやすいように経営者向けのチラシ作成などして働きかけを強めるべき。

答弁 県米作改良対策本部より県内の商工労働団体にに対し田植えの実施に向けた協力要請をしている。市では商工会議所や建設協会、商工会に同様の要請を行っている。主旨を対策本部に伝える。(同)

10年で農業人口が半減し、深刻な高齢化が進む農業の展望は。

答弁 農地の集・集約化に取り組み、スマート農業や増収のための栽培手法の紹介、支援メニューを充実させていく。園芸作物の生産拡大や産地化、高岡産米粉100%の商品の開発と水田フル活用など「稼げる農業」として、関係機関と連携し取り組む。(市長)

私の思い 農業は日本人の食料を作り、体を作る大切な役割と国土保全の役割もある。しかし、その食料自給率が30%台と大変危機的な状況だ。従事者が減る一方の疲弊しきった農業を立て直すためには、国が戸別所得補償制度を行うことが必要だ。

コシヒカリの概算金13000円が16000円に上昇したのは、ここ数年の原材料費高騰が、ようやく反映された結果である。しかし、物価高騰に比べれば農家の収入アップにはまだまだ支援が必要である。

市民に親しまれる市民病院に

質問 これまで急性期病棟のみであったが、今年8月から回復期病棟として36床が設けられた。急性期終了後の入院が可能となったが、その役割は。

答弁 高齢者の単独世帯の増加に伴い、急性期医療終了後自宅に帰ることが困難な患者が増えていることから、リハビリなどのスタッフ連携しケアを行い、自宅などへの退院の準備を行う役割を担う。(市民病院事務局長)

質問 医師の減少により規模を縮小するなどした診療科の状況は。また、患者への影響を問う。

答弁 令和4年度から5年度で脳神経外科、次に胸部・血管外科の常勤医師が不在となり、今年度産婦人科で医師が減少した。外来と救急は非常勤医師や応援医師により継続しているため、地域医療への影響は限定的と考える。患者数の減少は人口減少や常勤医の不在・減少、初診患者のかかりつけ医での受診の促進も要因と考える。(同)

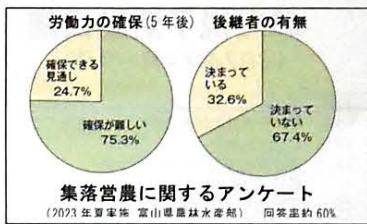
質問 高齢者層へのニーズに應えるため、市民や患者向けの市民病院をPRする広報誌の作成を作成しては。

答弁 現在の広報誌は急性期病院であることから、地域のクリニックに配布し、市のホームページに掲載している。今後も費用対効果を勘案しながら配布先を検討する。(同)

質問 市民病院の地域の中で担う役割は。

答弁 急性期医療と精神医療や感染症など採算が合わず、民間病院では提供されにくい分野の医療を担う。また、急性期後として地域包括ケア病棟や訪問看護を通じて、医療分野における地域包括ケアシステムの推進をけん引したい。(同)

私の思い 患者数(外来、入院合わせて)は、一昨年度で約13000人、昨年度で約15000人も減少した。医師の減少と医療の機能分化(総合病院が急性期を対象とする)で紹介状なしの初診が7700円へ引き上げられたことにも市民からの不安の声が届く。今後も医師の確保と市民に頼られる病院となるようチェックしていきたい。



のだ悦子市議会報告会のお知らせ

日時 2024年12月15日(日)午後1時半～

場所 福田地域交流センター
(福田公民館)

* みなさまのご来場を
お待ちしております。



NPO作成
セダミニブック表紙



ジェンダー平等教育推進を！

質問 学校でのジェンダー平等教育の状況は。また、男女平等等古い慣習を変えるためにも、広く子ども向けにジェンダー平等の普及の取り組みを行っては。

答弁 中学1年生にテロTDF予防啓発講座を実施している。また、男女平等推進センターには、登録団体が作成したチラシやパンフレットなど啓発媒体を設置しており、活用いただきたい。(生活環境文化部長)

私の思い NHKの「虎に翼」は働く女性がぶつかる問題が扱われて女性を中心に多くの共感を呼んだ。また、女性も自分の生き方は自分で選ぶというジェンダー教育の重要性も示した。本市のNPOが作成した子ども向けの冊子を、子どもの頃から男女平等の意識を身に着けるために積極的に活用することを求めている。

6月議会報告

地震から半年、災害時にどう備え行動すればよいのか。特に高齢者や障がいをもつ方々への対応に焦点を当てました。

要支援者の安心と安全を個別避難計画作成を急ごう！

質問 避難行動要支援者名簿と個別避難計画の役割と作成状況は。

答弁 難病、要介護3以上、一人暮らし高齢者、障がい者などをリスト化した要支援者名簿があり、令和6年4月時点で11,272人が登録されている。このうち民生委員や自治会、自主防災組織などと情報共有して個別避難計画を作成しているのは同時点で3,736人である。計画作成により、地域とつながり、災害時に円滑に避難ができるようになるためのものである。作成には民生委員、自治会の方々、介護や障がいの専門職の方々の協力が不可欠である。まず制度の理解を進めることが必要で、そのために出前講座や高齢者の集いや福祉事業所の定例会にて説明をしている。（福祉保健部長）

質問 現在、防災週間の8月末から9月上旬の日曜日に総合防災訓練が行われているが、猛暑で多くの方が参加しにくいいため実施時期を見直しては。

答弁 夏休みで子どもにも参加できる時期で効果的に啓発を図れると考えるが、他自治体の状況を見ながら検討したい。（総務部長）



上記のQRコードで、のだ悦子の6月議会一貫質問と答弁を聞くことができます。



市役所社会福祉課で配布中

私の思い 能登半島地震では、健康な方はもちろん、病氣や高齢者、障がいをもち方の不安はどれほどだったか。市では一緒に助かるためにと題した「高齢者・障がい者等と支援者のための防災マニュアル」を3月に作成した。一人ひとりが大事な命。高齢者や障がいのある方があきらめることなく命を大切にするために、個別避難計画作成を進めることが重要である。

教育総合支援センターについて

質問 旧平米小学校に2年後に開設予定の（仮称）教育総合支援センターについて、現教育センターとの違いは。

答弁 現教育センターは悩みを抱える不登校児童生徒や保護者への教育相談の実施や不登校児童生徒の支援を行ってきた。新しい教育総合支援センターでは不登校児童支援だけでなく、外国人や特別な支援を必要とする子どもと保護者に対しての総合的な役割を持つセンターとする。（教育次長）

質問 不登校児のうち、現教育センターの利用割合を問う。また、新しい教育総合支援センターでは支援対象となる子どもや保護者の意見反映はどのようにするのか。

答弁 令和5年度の不登校児童生徒447人のうち44人で1割である。支援を必要とする児童生徒の実態やニーズは個々に異なっているため本人や保護者の思いを丁寧に聞き取り、その都度反映させる。（同）

質問 不登校や外国人の児童生徒に対する民間支援団体との連携と支援の状況は。

答弁 不登校児童生徒が通う支援団体とは、学校が情報交換を行い、教育委員会からも通所施設を訪問し、施設の状況等の把握に努めている。外国人児童生徒には支援団体の学習支援や高校説明会など団体主催の各種イベントの案内を学校を通じて配布している。民間支援団体への経済的支援は、現在始まった県教育委員会のフリースクール等通所児童生徒

支援事業の状況を注視したい。

私の思い 子どもたちの社会は不登校、いじめ、虐待、貧困、ヤングケアラーなど多くの問題がある。特に不登校は年々増えている。教育総合支援センターの役割は重要で、ハード面だけでなく最適な支援内容の確立が必要だ。

教育センターの不登校児の利用が1割というのは立地条件などの理由だけでなく、支援内容にも課題がないか、多くの子どもたちを受け入れている民間団体や当事者への聞き取りが必要と考える。今後も他県の教育総合支援センターの状況を調査するなどし、より良いセンターになるよう働きかけたい。

視察報告

東京都北区教育総合相談センター

中学校の空き校舎の一部を利用。通常の教室を二つに仕切った教室や個室の相談室も多数あり、使い勝手が良さそうである。支援ではセンターまで来なくても学べる「バーチャル・ラーニング・プラットフォーム事業」を取り入れていること、毎年通っている保護者と子どもにアンケートを実施し、要望に対応していることに注目しました。



国会ウオッチ

解散総選挙が行われます。能登の被災地では一日も早い支援を待つ人がいるなか、1年の任期を残しての選挙は党利党略としか見えません。

また、年々増大する防衛費、それにより国民の生活に必要な財源が減らされます。そして、その結果、物価高騰の支援や福祉、医療、教育、子ども・若者支援、農業支援等々が十分できません。周辺国といかに友好関係を作るか、アメリカに追随するのではなく、自国の安全のための外交に全力を注ぐべきです。

9月議会では農業の問題を取り上げました。今年5月29日に農政の憲法とされる改正「食料・農業・農村基本法」が参議院で可決・成立しました。しかし、食料自給率も盛り込んでいない問題のある法律です。参事人として国会で陳述した鈴木宣弘大教授は、「食料安全保障の観点から、米の生産をふやすこと、命と国土、コミュニティを守るのが農業である。その農業予算を大幅に増額し、欧米並みにすることを主張しておられます。私も、今の疲弊した農業を立て直し、若い世代が農業に意欲を持つためには、戸別所得補償政策が必要だと考えます。鈴木先生の国会での意見陳述を下記QRコードで聞くことができます。」



のだ悦子活動日誌 (2024年4月～9月)

- 4月**
10日 県内女性議員研修会（テーマ：防災）
17日 4月臨時議会
22日 連合富山総合生活研究センター 政策・制度学習会
25日 立憲民主高岡支部大会
27日 福田地区自治振興会総会・社会福祉協議会総会
- 5月**
3日 憲法キャラバン
4日 二十歳のつどい（ふれあい福祉センター）
16日 自治労県本部結成 70周年記念式典
20日 市国際交流協会総会・講演会
27日 非核平和行進
30日 市日中友好協会総会・講演会
- 6月**
14～28日 6月定例会
7日 県職労大会・19日 同女性部大会
16日 市総合防災訓練説明会
25日 南条小学校教育振興会総会
30日 地区住民アンケート報告会・意見交換会（女性の部）
- 7月**
3 4日 会派視察（東京都北区 教育総合支援センター 千葉県香取市 液化化対策）
12～14日 平和チャリティー色紙展
17～18日 総務文教常任委員会視察
- 8月**
1日 県反核・平和の火リレー市役所前集會
6日 原水爆禁止高岡協議会 街頭行動 被爆者慰霊平和祈念式
7日 連合高岡「政策制度研修会」
8日 戦争を許さない女のハの日の行動（朝街宣）
17日 食の安全のドキュメンタリー映画
23,24日 全国政策研究集会（大分）
25日 市総合防災訓練
- 9月**
6～27日 9月定例会
7日 Eフェスタ Nプロ防災ワークショップ
11日 新潟市議と被災地支援意見交換 立憲民主党代表選挙候補者討論会（金沢）
13日 自治労県本部大会
24日 出前講座～介護制度と災害時の助け合い～
27日 連帯する高岡学習会（災害ボランティア）

※ その他議会運営委員会、総務文教常任委員会、広報広聴委員会、人口減少社会対策特別委員会、地区自治振興会定例会や地域の行事等に参加



石附幸子新潟市議と被災地支援について意見交換しました。（エルバセオ 2024年9月11日）

ご意見をお待ちしております

〒933-0833 高岡市荒見崎63
TEL/FAX 0766-31-0511
携帯電話 090-3888-1337
E-mail nodaetsuko.tg@gmail.com



ともに支えあう社会をめざして

のだ悦子市議会レポート

高岡をもっと暮らしたいまちに

第13号

発行 2025年1・2月
発行人 高岡市議会議員
埜田（小嵐）悦子
立憲民主・市民議員団



12月議会報告

能登半島地震から1年、被災地では
いまだ復旧とはいえない方々も多く、
住民のみならず苦労が続いていま
す。12月議会では8500万円の一般
会計の復旧予算が提案され可決しまし
た。また、物価高騰支援金（住民税非課
税世帯）や福祉施設等へのエネルギー
と食材費の助成なども決定しました。

市議会議員となり丸3年。全ての定例会
で質問し、今回で13回目の一般質問です。
12月定例会（2・19日）では①農政部（特
に南部地区）で課題となっている剪定枝木
の回収、②ひきこもりの方への支援、③困
難を抱える女性への支援の3点について質
問しました。

剪定枝の無料回収実施

課題が明確に1来年度以降の継続を確認

【質問】 10月26日の半日、戸出を回収場所
にして実施。しかし、1時間半待ちの大



上記のQRコードで、のだ悦子の12月議会
一質問と答弁を聞くことができます。

ひきこもりの方への 支援充実を

【質問】 ひきこもりの方は全国で146万
人と言われ増加の一途です。福祉連携推
進室によりひきこもりの支援団体を含めたネ
ットワーク会議が開催されています。地域
の民生児童委員の方の関わりや市民の理解
ある温かい目が求められます。当事者の方
の思いを理解し、広報紙やパンフレットな
どに必要な方々や市民に情報が届く工夫を
求めました。

【答弁】 地域の実情を把握している民生児
童委員や福祉活動員の方々に令和4年度か
ら年1回ひきこもりの研修をしている。今
後は当事者の体験談を盛り込むなどしたい
（戸田福祉保健部長）



JA 醍醐地区センターに持ち込まれた枝木

困難を抱える女性への支援強化を！ 母子生活支援施設の設置を 要望

【質問】 依然と大きい男女の賃金差、そして
増加するDV。県下2ヶ所の配偶者暴力防
止センターのその一つがある本市は困難を
抱える女性の支援計画を策定し、積極的な
取り組みが求められます。困難を抱えたシ
ングルマザーの母子生活支援施設がないの
は本県のみです。早急に設置に向けた働き
かけを求めます。

【答弁】 本市の母子生活支援施設への相談
は令和3年から昨年度まで計5件である。
配偶者の暴力による場合、距離の離れた場
所への避難が必要になるケースが多く、県
外の施設に入所となっている。母子生活支
援施設は県において検討しており注視した
い。（同）

総務文教常任委員会（10月17日） 外国人生徒の支援を要望

総務文教常任委員会で新たな教育総合支
援センターと外国人の子どもの支援につ
いて質問しました。

【質問】 年々増加する外国人児童生徒へは
個別支援が必要で、その対応は十分か。学
校以外では市内の民間団体（アレッセ）が
大きな役割を果たしている。新たなセンタ
ーの外国人児童生徒の支援に民間団体にも
積極的に協力を求めるべきでは。

【答弁】 外国人児童生徒は令和5年度が1
97人、今年度が213人であった。相談
員17人を小中学校等27校に派遣している。
相談員のさらなる拡充を国や県に強く働き
かける。来日して間もない児童生徒が教育
総合支援センターで日本の生活や学校への
適応など総合的な支援を受け、その後学校
への通学を考えている。外国人児童生徒と

の関わりを持つてきた方の意見を聞くこと
も人材確保に努める。（津田学校教育課長）



アレッセでの学習支援風景

ひきこもり基本法の制定を 求める意見書 全会一致で可決

11月県内のひきこもりの支援団体はあ
とびあ理事長からひきこもり基本法の制定
を求める陳情が提出されました。その趣旨
を生かし「ひきこもり基本法の制定を求め
る意見書」を全会一致で可決し、国に提出
しました。

議員定数2人削減に反対

12月議会では議員定数削減の条例提案
がありました。立憲民主・市民議員団は「多
様な市民の声を反映し行政のチェック機能
を果たすためには削減は反対」と主張し、
最終日に私が反対討論をしました。結果は
自民党の最大会派未来創政会と公明党など
の削減案に賛成多数で可決されました。
次の選挙から2人削減となること決定
しました。地域住民や働く者、女性・弱者
の意見や要望が届くのかたいへん疑問です。

のだ悦子議会報告会開催



去る12月15日(日)午後1時半から高岡市立福田公民館で「のだ悦子議会報告会」を開催しました。あいにくの空模様で、時には強い雨が降る中でしたが、地域や労働組合、市民活動の方々など60人もの皆様に駆け付けていただきました。

支える会新会長に

後藤通孝さんが就任

議会報告会に先立ち、のだ悦子支える会の総会を開きました。1年の活動を振り返った後、後藤通孝新会長が承認されました。その後、のだ悦子議員の報告会を開催しました。

市議会報告

能登半島地震が起き、災害に備えることや地域の支えあい大切さを学んだ1年でした。そして、私の活動の中心は福祉の改善を要求し、多くのことで当局とやり取りを行いました。実現は簡単ではありません

が、現場や事業所の声を聞いてそれを伝えるのが私の役割と考えてこれからも続けます。

その他では、男女平等問題、市民病院の医師・患者減少の問題、地域の課題でもある農業の問題、庭木の伐採後の無料回収、そして、市役所職員や働く者の待遇改善などにも取り組みました。

意見交換

3人の方から、意見をいただきました。

● 高岡駅南の開発について「今ある更地に200円で停められる駐車場は大変助かっている。大型商業施設を含んだ開発の話が進んでいるとのことだが、どうなるのか。」

● 私の住んでいるのは比較的中心市街地に近い地域だが、以前は大変活気があった。今は空き家が増え高齢者世帯が多くなっている。コミュニティバスもなくなり、1日3本のバスがあるだけ。若い方がいなくなり、これからが不安だ。

● 医療と教育の現場の働き方の問題。市民病院の看護師の育休復帰後の働き方について。夜勤が当然のようにあるが、改善できないか。

地震の時、避難所になっていた学校は管理者である校長が教頭のどちらかが24時間いることになっていて大変な状況だったと聞く。教師の働き方改革が言われるがこうした問題にも対応してほしい。



落語でお楽しみいただきました

意見交換終了後、川中奈丸(社会人落語集団「ばららくこ」) 師匠の落語をお楽しみいただきました。



私のだ悦子の意見

● 人が集まるようになった駅南側の開発として、ダイエー跡地等がより有効利用できないか考えて進めている。高岡市庁舎の問題も含め、市民に議論が見えるように求めていきたい。

● 若い世代を中心にやや郊外に家を建てるようになり、従来の街の人口バランスが変化している。高齢化している地域の空き家問題などを考えていきたい。

● 市民病院の夜勤免除などの対応を確認する。また、地震の避難所となっている学校の校長・教頭の負担状況とその対応も教育委員会に確認し改善を求めたい。

山さんの国会だより

政治は変えられることを実感できる年に！

30年ぶりの少数与党の国会で、「熟議と公開」という当たり前の国会論戦の場に、一年生衆議院議員としてスタートをきりました。

立憲民主党の要求から、能登半島地震の復旧・復興のための経費を予備費から一億円積み増し、また、政策活動費の廃止や旧文通費の公開など、これまでの自民党一強では成しえなかったことが進みました。

他方、物価高騰対策や賃上げ道半ばで、多くの国民が困窮・疲弊しています。また、裏金問題の真相究明や企業団体献金の禁止などの課題は解決していません。トランプ政権が誕生し、防衛費増や周辺国との外交関係も見通せず、社会保障では給付カット・負担増も問題で、その他様々な課題に早急な対応が必要で

「政治を変えてほしい」という期待を力に、一月からの通常国会に全力で臨みます。

※ 山としひろ 衆議院議員

立憲民主党 北信越ブロック
選出 富山県第1区



12月18日、初質問は内閣委員会「性的マイノリティに配慮した性別欄を」

のだ悦子活動日誌

10月

- 5日 高岡市議会 議会報告会・あしつきふれあい祭
- 7日 高岡交通労組大会
- 11日 人口減少社会対策特別委員会
- 16日 連合富山 大会
- 19日 小学校学習発表会 26日 中学校学習発表会
- 20日 福田地区自治振興会定例会
- 30、31日 人口減少社会対策特別委員会視察

11月

- 5、7、8、13日 決算特別委員会
- 6日 連合高岡総会
- 10日 福田文化祭
- 12日 全国自動車交通労組富山地方連合大会
- 14日 原水爆禁止高岡協議会 理事会
- 16日 DV支援団体バサバエフェスタ ワークショップ
- 17日 福田地区多機能自治 生涯学習部会集い
- 19日 人口減少社会対策特別委員会
- 26日 立憲民主・社民議員団次年度予算要望書提出
- 27日 市政・県政を考える会(高岡連帯する会)

12月

- 1日 荒見崎公民館祭り・防災出前講座
- 2~19日 12月定例会 10日 一般質問
- 4日 ひきこもり・不登校支援法人はあとびあ理事長訪問
- 8日 南条校下カラーリング大会
- 9日 ハの日行動 朝街宣
- 10日 連合高岡地協 朝街宣
- 15日 のだ悦子議会報告会
- 18日 高岡連帯する会総会
- 22日 福田地区自治振興会定例会

その他、議会運営委員会、総務文教常任委員会、広報広聴委員会などに出席

ご意見をお待ちしております



〒933-0833 高岡市荒見崎63
TEL/FAX 0766-31-0511
携帯電話 090-3888-1337
E-mail nodaetsuko.tg@gmail.com

X(前Twitter) Facebook
QRコード